

令和5年度 第3回学校運営協議会 議事録

日時：令和5年2月28日(水) 14:30～16:00

場所：本校校長室

出席委員：久会長、川添副会長、根井委員、山崎委員、森委員、谷口委員

事務局出席：校長、教頭、首席（2名）

1. 学校長挨拶
2. 会長挨拶
3. 報告

①学校説明会について

第3回学校説明会の報告

- ・参加者数は昨年度の1月開催とほぼ同じ
- ・今回も自治会生徒のプレゼンテーションを行い、終了後は校内案内ツアーを行った。
- ・次年度は11月にクラブ体験を含めた説明会を持つ1回増やす予定。

4. 協議

①令和5年度学校経営計画進捗状況について

- ・公開授業・研究授業に対する肯定感が82%と高いが授業改善につながっているかはわからない。
⇒さらに授業改善を進めるために授業見学のしやすいシステムをつくるのが課題
- ・AL型授業の実施が70%と下がってしまっているが、1,2年生の内容・評価を考えると増えると思うが？
⇒教科によって差があると思うが1,2年生に関しては実施しているところが多い。3年生に関しては受験対応になると難しさがあるので、そこが次年度への課題と感じる。
- ・教材の共有は進んでいるか？
⇒観点別評価になった事もあって共有はかなりできていると思う。ただ共有することでマニュアル化され特徴のない授業となる弊害もある。
- ・進学に関して大学の合格に焦点が当たるが何をしに行くのかを考えることができているか？
⇒各学年の進路学習の中で行っている。1年次には分野別説明会を行い、どの学問がどのような職種につながるかを学び、文理選択を含め、進路を考える機会をつくることとしている。
(委員) 多種多様な仕事の話聞く機会をつくるのができればもっと良い。新しいタイプの仕事、起業する人が出れば良いし、チャレンジ精神を養ってほしい。

②学校教育自己診断アンケートについて

- ・アドバンスコースとスタンダードコースの肯定感が生徒と教員で大きく差があるのは？
⇒教員の中にその違いを理解していない状況がある。以前はアドバンスコースは国公立大学をめざすことになっていたが現状は国公立大学・難関私立大学となっている。さらにスタンダードコースからでも難関私立大学に合格するものも多くいるのでその差がなくなっているからだと思う。
(委員) どこまで生徒たちの学力を引き上げるかが共有されるべき。どこがゴールかをしっかりと共有しなければいけない。
頑張れる生徒、頑張れる教員を育てること。たくさんの教科に頑張れる生徒（共通テストを受験している生徒）が、進学後に粘り強く頑張れる生徒、伸びる生徒になっていると思う。
- ・模試などが学習態度の改善に役立っているかの質問があるが、振り返る機会はあるか？また定期テストのフォローはされているか？

⇒模試の分析会を行っている。また、定期テストにおいても各教科でやり直しが課題として出されているが答えを写して終わりの作業になってしまっていると感じる。

(委員) 今までの学習における知識量を求めながらさらに考える力をつけさせることは無理がある。効率よく必要なことを選ばなければいけない。

・担任と担任外の格差については改善されているが何か工夫された？

⇒目標設定面談の際にどの先生が何に長けているかを伝えて連携しやすくしている。

担任での会議の内容を共有するようにしている。学年での動きがわかると手伝いやすくなるので担任の助けになる。

③R6 学校経営計画について

・地域の中学校の連携や入試倍率に関してあるが、広報はどのようにするのか

⇒首席が学校説明会などを統括している。次年度は回数を増やすこともあるし教頭にも関わってもらいながら行っていく。説明会のアンケートを見る限りホームページが重要な役割を果たしているように感じるので今後も充実させていく必要がある。

(委員) 広報をするにあたって分析が必要である。どの地域・沿線からの志願者が多いのか、また通学者が多いのかを調べて効率的に広報活動をする方が良いと思う。またそれを生徒に課題として学ぶ機会にしても良いと思う。

④スクールポリシーについて

(委員) 目標、方針を設定することは大事ですが、その方針に基づいて組織として動くことが大切。

⇒方針に沿うためにも探究の内容を検討している。大学入試も総合型選抜を活用することも増えると予想するので、それに向けての内容としたい。

(委員) これまでのAO入試ではなく、総合型選抜では取り組んできたことだけではなく、それによって得た成果が求められる。『〇〇しました』では足りないので、取り組みが求められる。